



JAMCA ニュース

No.107

2020年10月1日

発行
協会事務局

全国自動車大学校・整備専門学校協会

〒160-0015 東京都新宿区大京町 31

ヴィップ新宿御苑 ☎ 03-3356-7066

〒125-0002 東京都葛飾区西亀有 3-28-3

☎ 03-3601-2535 FAX 03-3601-2988

ホームページアドレス <http://www.jamca.jp/>

編集事務局

自動車業界に必要とされる人材育成のために

学校法人 小倉学園 専門学校 群馬自動車大学校・専門学校 東京自動車大学校 理事長
全国自動車大学校・整備専門学校協会 理事・顧問

小倉 基義

今般 JAMCA 加盟校の皆様におかれましては、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、4月に全国を対象とした緊急事態宣言が発出されたことをはじめ、休校要請や感染拡大防止対策など様々な面で苦慮されている日々が続いていることと思います。この記事が掲載される頃には新型コロナウイルスの脅威が少しでも軽減されていることを期待しています。

さて、自動車は日々進歩し改良されており、その中でも最近では自動運転などの技術の開発が進んでいます。高度なセンサーやシステムを取り入れた自動車が多く普及し始め、自動運転の実証実験も日本各地で実施されるようになりました。この自動車の進歩に対応するため、整備分野においても関連する法律が改正され、令和2年4月より新しく特定整備事業が誕生しました。また、道路交通法などの自動運転に関する法律も改正されはじめ、本格的に自動運転の自動車に対応する社会へと変化しようとしています。

このように高度な技術を取り入れた自動車が登場している社会で、専門学校として優秀な自



動車整備士を育成し、自動車業界に求められる人材を輩出し続けていくためには、今一度ディーラーなど自動車業界の企業や現場から求められている人物像を確かめ、ニーズに合った人材を育成する教育について、見つめ直していくことが必要だと思います。

例えば、企業からのニーズの中に現在の教育水準よりも新しい技術に特化した人が必要という要望があれば、より新しい技術を教科書に掲載し授業に取り入れていくことが必要です。さらに、技術は進歩していくものなので、最新の技術に対応し続ける内容にアップデートをしていくことも大切になります。また、その一方で、営業の出来る整備士が欲しいという要望があれば、整備技術の他にマーケティ

ングの授業を取り入れるなど、自動車整備士としての知識だけでなく幅広い知識を提供し、教育していくことが求められます。

ここで挙げた例はほんの一部ですが、自動車が進歩し、社会が変化している中、自動車業界から求められる人材も変化し、多様化していくと思います。

自動車業界から求められていることをしっかりと理解し、業界が求める人物像を確立し、教育に反映していくことが自動車整備の専門学校を運営する私たちのつとめだと思います。

自動車業界の発展の一端を担っていくために、各企業や現場からの意見やニーズを把握しながら、JAMCA 加盟校みんな教育について今後も検討し、優秀な人材を輩出していくために、しっかりと取り組んでいきましょう。

CONTENTS

2面	2030年新燃費基準が施行される
3面	クルマ大好き!・活躍!!女子!卒業生
4面・5面	コロナ禍に負けない整備士教育を! 会員校の対応と取り組み
6面・7面	協会トピックス・アイドルタイム・地区通信
8面	私の教材活用・お知らせ・編集後記